平成26年01月29日

安達　林太郎

議事録

1. 日時：平成26年1月24日　11:30～12:45
2. 場所：船橋情報ビジネス専門学校
3. 参加者：安達 林太郎(プレゼンター)、翠田 葵(オペレーター)、

青山 直樹、田中 宏昌、村上 出海

1. 発表内容：(１)システム導入に至った経緯

(２)システム画面と機能説明

(３)各種機能

(４)よいシステムとは？

(５)班員所感

1. 質疑応答の内容

(１)佐藤さん　受信メールに届いたメールが返信されたメールであるか判断できない。

→返信されたメールにはタイトルの初めに「RE:」が付くようにする予定。

(２)飯田さん　シフト作成の際20人以上のシフトは作れないのか。

→今後追加ボタンを配置し、シフト人数を追加可能にする予定。

(３)山本さん　提出されたシフト希望は、シフトを作成する際にひとつひとつ確認する必要があるのか。

→現段階ではメールを確認する必要がある。一覧表示される機能等を追加する必要がある。

1. 講評の内容

　・開発に余裕がなかったが、なんとかプレゼンすることが出来てよかったと思う。

　・作成されていない部分が多々あったのが残念であった。

(石井先生)

　・既存のアプリケーションの方が使い安い面が多々ある。

　・今後のプログラム開発では既存のツールを知った上で、更に扱いやすいものや、

　 新しいものを作り出していってもらいたい。

(田辺先生)

平成26年01月29日

安達　林太郎

７.所感・振り返り

　　　プレゼンテーションのリハーサルをする時間をあまりとることが出来なかった。

また、班員全員が集まることもなかなか出来ずプログラムの開発にも時間がかかってしまった。班員のスケジュールに合わせた開発スケジュールを組む必要があると実感した。

(安達)

　話したい事と、削るところを考えまとめるのが難しかった。

　一部の開発が滞っていた部分をどうするかなどの、資料との兼ね合いや説明が難しくどうやって流れを作っていたのかを考えるのが一番苦戦した。

(翠田)

　　　プレゼンテーションで使うプログラムの開発に追われ、自分がやるはずだったオペレータが出来なく、班員に迷惑をかけてしまった。自分の仕事が遅れることによって班員に迷惑がかかることをより実感した。

(青山)

欠席が多くプレゼンの内容にはあまりかかわれませんでしたが、デモンストレーションで自分の作った画面が正常に動いたので安心しました。

(田中)

　プレゼンテーション開始前までに自分の担当する範囲を完成させることができなかった。また、結合の際に色々と不具合が発生してしまっていた。今後はこのようミスを減らせるように努力していきたいと思います。

(村上)

1. 次回に向けた改善案

今回のプレゼンで一応最後なので次回はありませんが、今後プレゼンする機会はあると思いますので改善案としては、資料の細かい見直しが不足していたのが一つ。

また、リハーサルの時点で時間の配分などしっかりしておけばよかった。

本番の発言内容がリハと違うこともあったので、自分の中で流れということをもうちょっと明確にしておければと思った。目も泳いでいたし。